

行動提起集会！

「大阪大学非常勤大量雇止め」問題 ～雇止め阻止のためにできること～

2022年9月17日（土） 14:00～17:00



@エルおおさか 研修室2

来年3月いっぱい雇止め予定のあなた、再来年以降5年または10年で雇止めを予定されているあなた、本当にそれでいいんですか？

そんなあなたのような非常勤教職員が、阪大だけでも200人以上もいるのです。知っていましたか？

「半年だけ休んでまたうちで働いてね」と言われてとまどっているあなた、半年休むことをすでに受け入れちゃったあなた、これから5年毎にこれ続けるんですか？阪大当局は半年後の再雇用なんか保証してませんよ。これって脱法行為なんですから。

半期だけの授業を何年も担当しているあなた、いつまで働いても無期雇用転換権が発生しませんよね？いつ雇止めになるかわからないでしょ？それで満足なんですか？

今、あなたに起こっている同じことが今後、あなたの同僚や後輩、さらにあなたの教え子にも起こると、想像したことはありますか？

では、これからどうするのか。まず私たちの話を聞いてみて、それから判断しませんか？今年度いっぱいでの雇止めを言われている方にとってはあまり時間が残されてはいませんが、できることはまだまだあります。当日は大阪大学の雇止めに対抗する方策についてあなたと検討していきたいと考えています。

非常勤教職員のみなさんだけでなく、大阪大学に関わる全ての方、ジャーナリストの方の参加をお待ちしております。

都合が悪い方はZoomでの参加もできます。2ページめをご覧ください。



スピーカー

中村和雄弁護士（市民共同法律事務所）

新屋敷 健さん（関西圏大学非常勤講師組合執行委員長）

（2ページもご覧ください）



主催：関西圏大学非常勤講師組合
(<http://www.hijokin.org/>)

Twitter：関西圏大学非常勤講師組合



当日の主な内容

- 新屋敷 健委員長
「阪大を追いつめるために今、できること」
- 中村和雄弁護士
「専修大学高裁判決の阪大問題への影響」
- 支援団体立ち上げの趣旨説明
- 当事者アピール
- 関係団体・個人からのアピール
- 質問・相談コーナー

❖ **他にもここでは書けないいろいろな話（？）が聞けるかもしれません。奮ってご参加ください。**



なお、遠方の方、当日お越しになれない方には、Zoomでの参加も承ります。
Zoom参加をご希望の方は、以下のアドレスに**お名前**と**ご所属**を書いてメールでお申し込みください。

連絡先メール：ngswtkk@outlook.jp（担当：長澤）